



2026年2月期・第2四半期（中間期）

決算説明資料

2025年10月23日

株式会社竹内製作所

（証券コード：6432）

- ▶ **2026年2月期・連結業績 上期実績**
- ▶ 2026年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ ご参考資料

決算のポイント（2026年2月期・上期実績）

（１）販売台数は欧米ともに増加

- 北米の販売台数は **+1.9%**（1Q：△23.9%、2Q：+31.1%、対前年同期比）

1Qで米国政府による関税及び通商政策により、製品購入時期を見合わせる動きがあったが、2Qではレンタル会社向けの販売が好調、クローラーローダーが貢献し、販売台数が増加

- 欧州の販売台数は **+8.5%**（1Q：+5.3%、2Q：+11.4%、対前年同期比）

国ごとに差はあるものの、製品需要に底打ちの兆しがみられ、販売台数が増加

- トータル販売台数は **+5.8%**（1Q：△8.5%、2Q：+20.6%、対前年同期比）

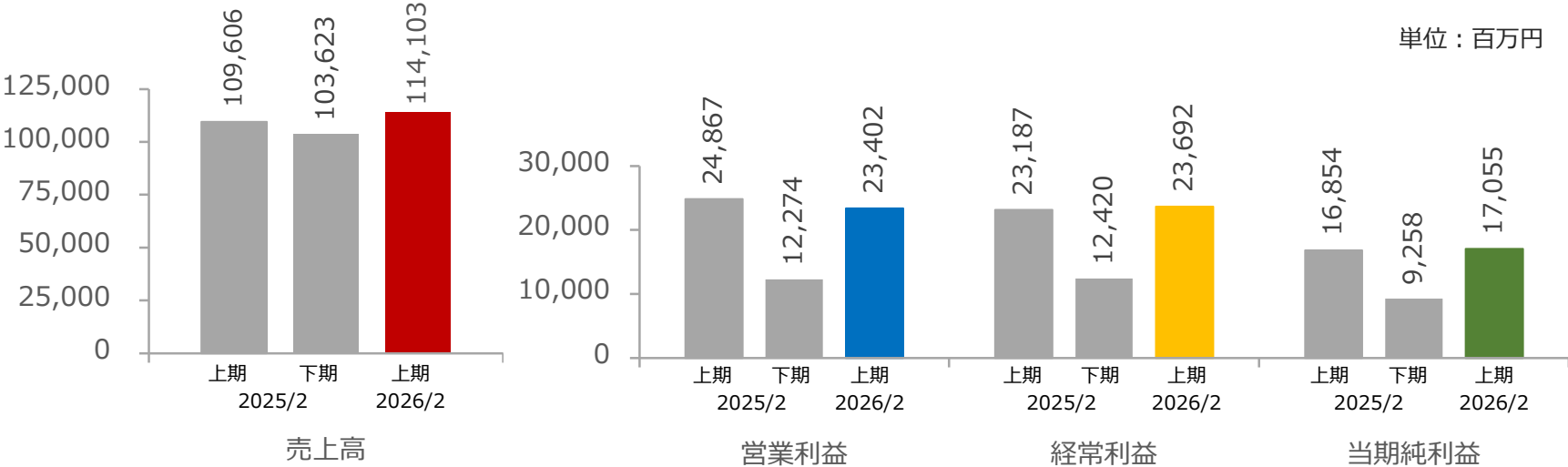
（２）上期として**過去最高の売上高**（+4.1%、対前年同期比）

- 販売台数の増加により増収
- 一方で円高影響や値引き等により、営業利益は前年同期比で減少

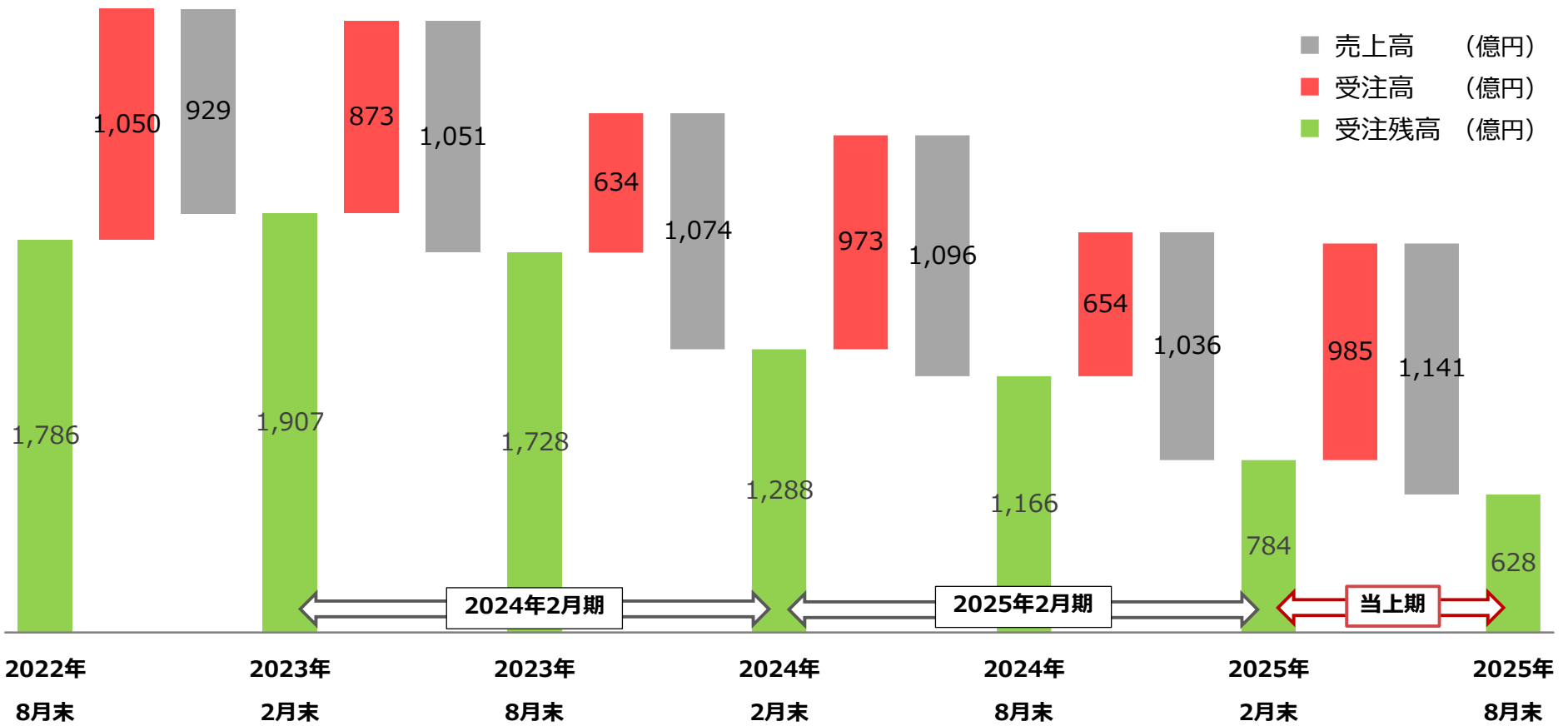
(単位：億円)	2025年2月期（前期）						2026年2月期（当期）		
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期
売上高	551	544	1,096	567	468	1,036	506	634	1,141
売上総利益	157	185	342	131	85	217	154	169	323
販管費	46	48	94	41	52	94	44	45	89
└ うち運搬費	17	19	37	14	15	30	14	14	29
営業利益	111	137	248	89	33	122	109	124	234

連結業績ハイライト (2026年2月期・上期実績)

単位：百万円	2025年2月期		2026年2月期				7/10 修正予想	対修正予想 増減額
	上期実績	売上比率	上期実績	売上比率	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
■ 売上高	109,606	-	114,103	-	+4,496	+4.1%	109,400	+4,703
■ 営業利益	24,867	22.7%	23,402	20.5%	△1,465	△5.9%	21,800	+1,602
■ 経常利益	23,187	21.2%	23,692	20.8%	+504	+2.2%	20,800	+2,892
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	16,854	15.4%	17,055	14.9%	+200	+1.2%	14,800	+2,255
設備投資額	1,397	1.3%	1,651	1.4%	+254	+18.2%	1,703	△52
減価償却費	1,807	1.6%	1,514	1.3%	△293	△16.2%	1,648	△133
受注高	97,311	-	98,582	-	+1,271	+1.3%	***	-
受注残高	116,602	-	62,897	-	△53,705	△46.1%	***	-



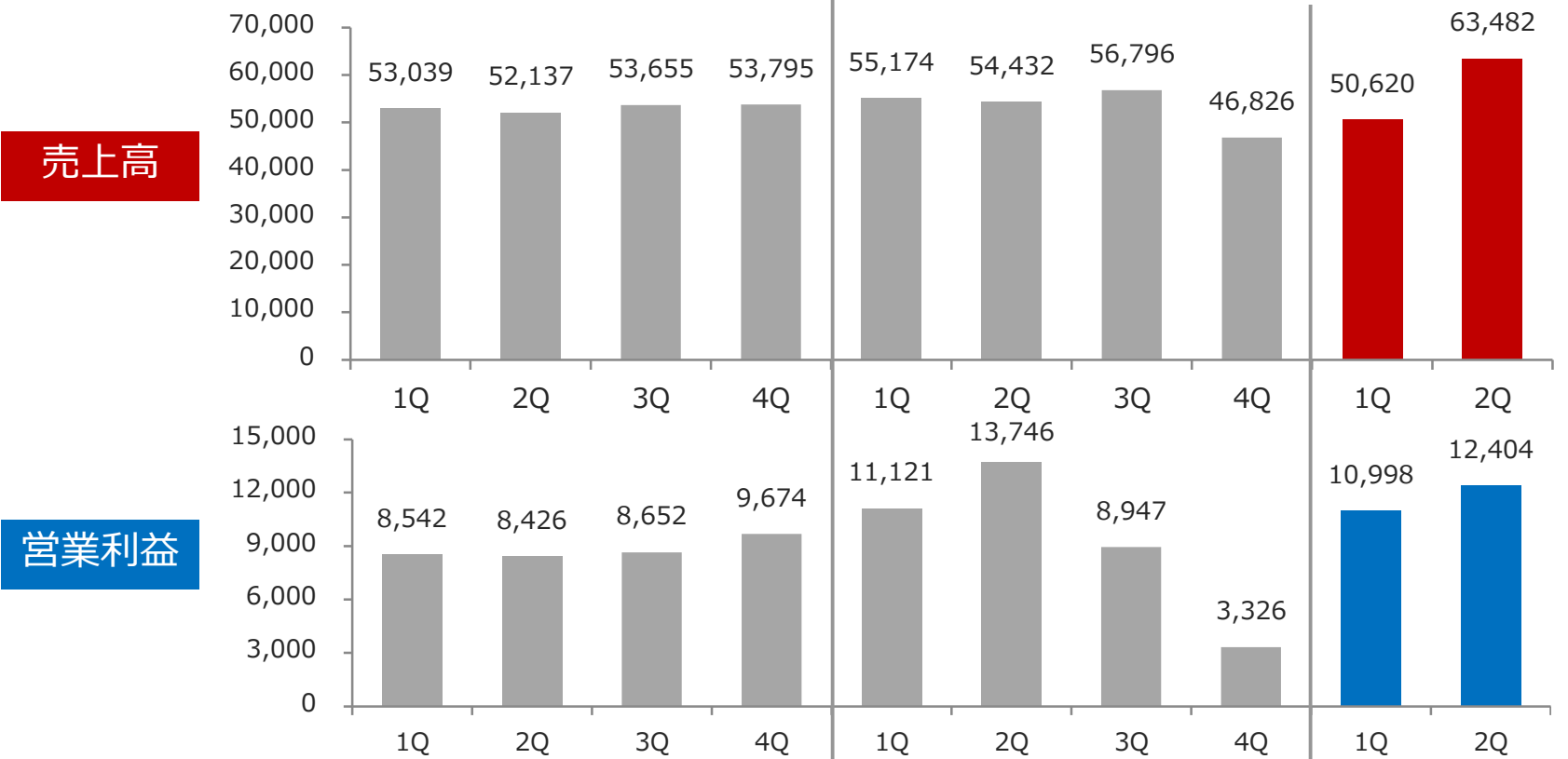
売上高、受注高、受注残高



(単位：億円)	2023年2月期				2024年2月期				2025年2月期				2026年2月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	424	436	468	460	530	521	536	537	551	544	567	468	506	634
受注高	665	642	470	579	476	396	382	252	615	357	224	430	567	418
受注残高	1,580	1,786	1,788	1,907	1,853	1,728	1,574	1,288	1,352	1,166	822	784	845	628

四半期毎の売上高・営業利益

単位：百万円

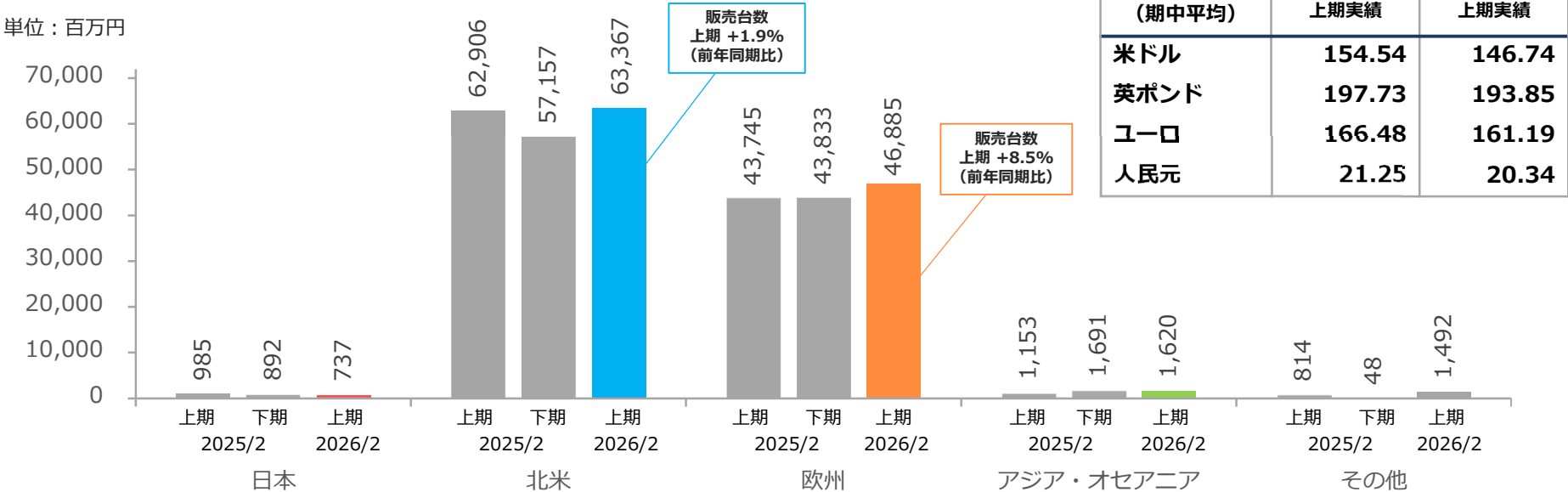


	2024年2月期				2025年2月期				2026年2月期	
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
円/米ドル	134.74	140.48	148.62	145.93	152.45	156.84	146.94	153.67	147.56	145.81
円/英ポンド	165.80	179.25	183.10	185.38	194.22	199.39	192.51	192.40	191.31	196.92
円/ユーロ	146.10	154.14	158.55	159.56	164.58	168.43	160.60	160.32	158.62	167.39
円/人民元	19.43	19.66	20.08	20.31	20.75	21.76	20.66	21.34	20.75	19.93

地域別売上高・アフターパーツ売上高（2026年2月期・上期実績）

単位：百万円		2025年2月期		2026年2月期					
		上期実績	構成比	上期実績	構成比	前年同期増減額	前年同期増減率	7/10修正予想	対修正予想増減額
■ 日	本	985	0.9%	737	0.6%	△248	△25.2%	790	△6.7%
■ 北	米	62,906	57.4%	63,367	55.5%	+460	+0.7%	62,730	+1.0%
■ 欧	州	43,745	39.9%	46,885	41.1%	+3,139	+7.2%	43,470	+7.9%
■ アジア・オセアニア		1,153	1.1%	1,620	1.4%	+467	+40.5%	1,530	+5.9%
■ その他		814	0.7%	1,492	1.3%	+677	+83.1%	880	+69.6%
売上高合計		109,606	100.0%	114,103	100.0%	+4,496	+4.1%	109,400	+4.3%
アフターパーツ		8,596	7.8%	9,081	8.0%	+485	+5.6%	8,281	+9.7%

単位：百万円



為替レート (期中平均)	2025年2月期 上期実績	2026年2月期 上期実績
米ドル	154.54	146.74
英ポンド	197.73	193.85
ユーロ	166.48	161.19
人民元	21.25	20.34

所在地別セグメント情報（2026年2月期・上期実績）

単位：百万円		2025年2月期		2026年2月期			
		上期実績	利益率	上期実績	利益率	前年同期増減額	前年同期増減率
日本	売上高	33,163	－	35,703	－	+2,539	+7.7%
	セグメント利益	22,400	67.5%	15,226	42.6%	△7,173	△32.0%
米国	売上高	62,921	－	63,585	－	+663	+1.1%
	セグメント利益	6,975	11.1%	4,426	7.0%	△2,548	△36.5%
英国	売上高	7,346	－	9,757	－	+2,411	+32.8%
	セグメント利益	110	1.5%	728	7.5%	+617	+556.9%
フランス	売上高	6,132	－	5,054	－	△1,078	△17.6%
	セグメント利益	533	8.7%	321	6.4%	△211	△39.7%
中国	売上高	42	－	3	－	△38	△92.6%
	セグメント利益	192	457.4%	114	3,714.2%	△77	△40.3%

➤ 日本セグメント（竹内製作所）

- ・ 建設機械の開発、製造
- ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売

➤ 米国セグメント（TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.）

- ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
- ・ 米国での建設機械の製造

➤ フランスセグメント（TAKEUCHI FRANCE S.A.S.）

- ・ フランスでの建設機械の販売

➤ 英国セグメント（TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.）

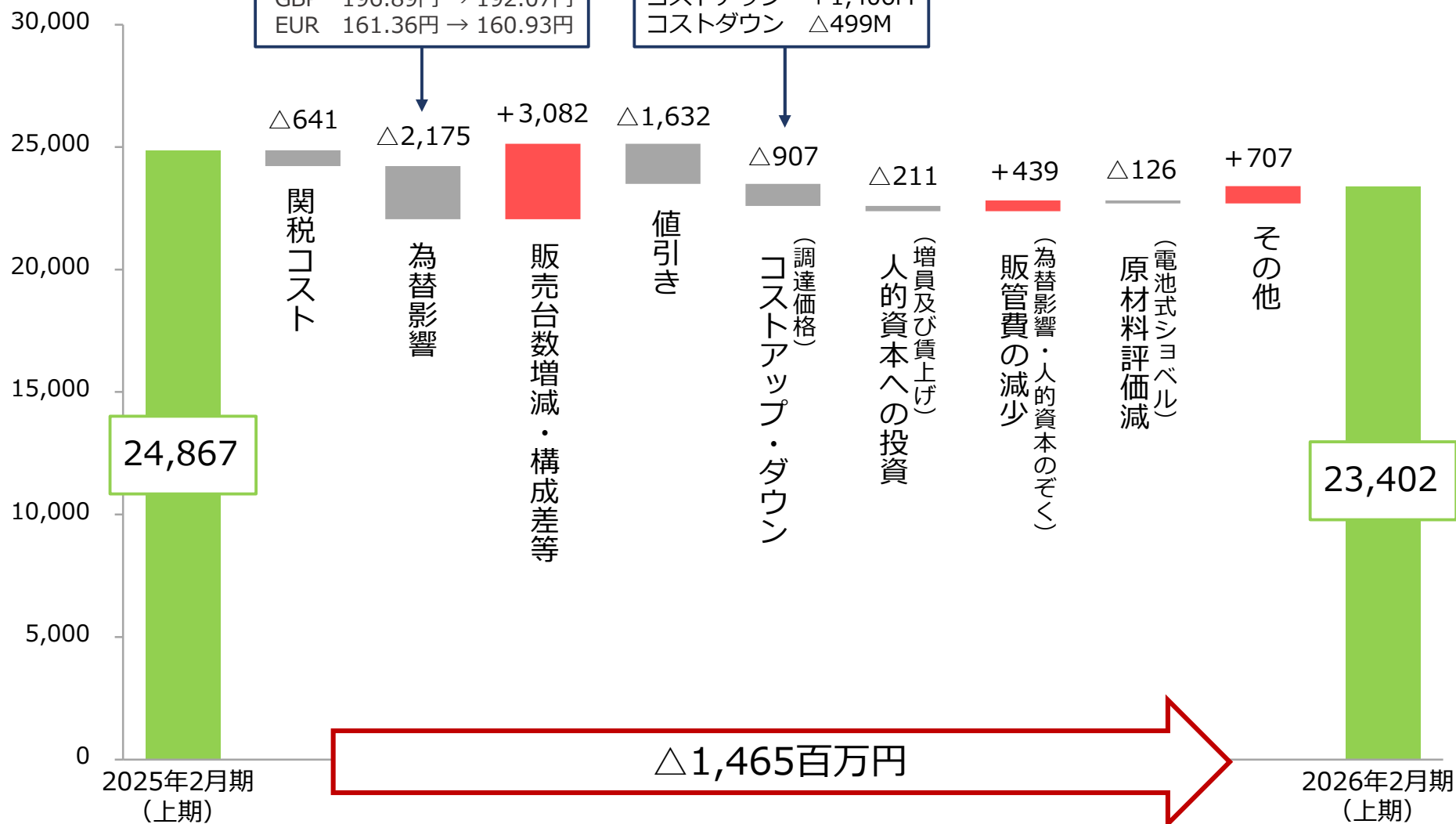
- ・ 英国での建設機械の販売

➤ 中国セグメント（竹内工程機械（青島）有限公司）

- ・ 日本セグメント向けの建設機械の製缶品（部材）の製造、調達及び販売

営業利益増減要因 (2026年2月期・上期実績)

単位：
百万円



* 未実現利益を考慮したレート：日本から米英仏の販売子会社への輸送・在庫期間を考慮したレート

連結貸借対照表（2025年8月31日現在）

単位：百万円

			2025年2月28日		2025年8月31日			
			残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資 産 の 部	現金及び預金		46,482	21.3%	39,343	18.6%	△7,139	△15.4%
	受取手形及び売掛金		45,586	20.9%	57,677	27.2%	+12,090	+26.5%
	棚卸資産		80,497	37.0%	72,613	34.2%	△7,884	△9.8%
	その他流動資産		4,687	2.2%	3,699	1.7%	△988	△21.1%
	流動資産		177,254	81.4%	173,333	81.7%	△3,920	△2.2%
	固定資産		40,464	18.6%	38,760	18.3%	△1,704	△4.2%
合計			217,718	100.0%	212,094	100.0%	△5,624	△2.6%
負 債 ・ 純 資 産 の 部	支払手形及び買掛金		36,022	16.5%	28,591	13.5%	△7,431	△20.6%
	その他流動負債		13,951	6.4%	13,876	6.5%	△75	△0.5%
	流動負債		49,974	23.0%	42,468	20.0%	△7,506	△15.0%
	固定負債		744	0.3%	743	0.4%	△0	△0.1%
	負債合計		50,718	23.3%	43,211	20.4%	△7,506	△14.8%
	純資産合計		167,000	76.7%	168,882	79.6%	+1,882	+1.1%
合計			217,718	100.0%	212,094	100.0%	△5,624	△2.6%

連結キャッシュフロー計算書（2026年2月期・上期実績）

単位：百万円

現金及び現金同等物
残高

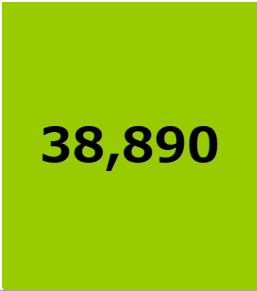
+3,549

△1,081

△9,311

△313

現金及び現金同等物
残高



2025年
2月28日

営業CF

投資CF

財務CF

換算差額

2025年
8月31日

営業キャッシュ・フロー		増減額	投資キャッシュ・フロー		増減額	財務キャッシュ・フロー		増減額
税金等調整前当期純利益		23,692	有形固定資産の取得		△ 978	配当金の支払		△ 9,215
減価償却費		1,514	無形固定資産の取得		△ 94			
棚卸資産の減少		2,872	有価証券の償還による収入		0			
運転資金の増加		△ 19,117						
法人税等の支払		△ 6,627						
その他		1,215	その他		△ 8	その他		△ 95
合計		3,549	合計		△ 1,081	合計		△ 9,311

- ▶ 2026年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2026年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ ご参考資料

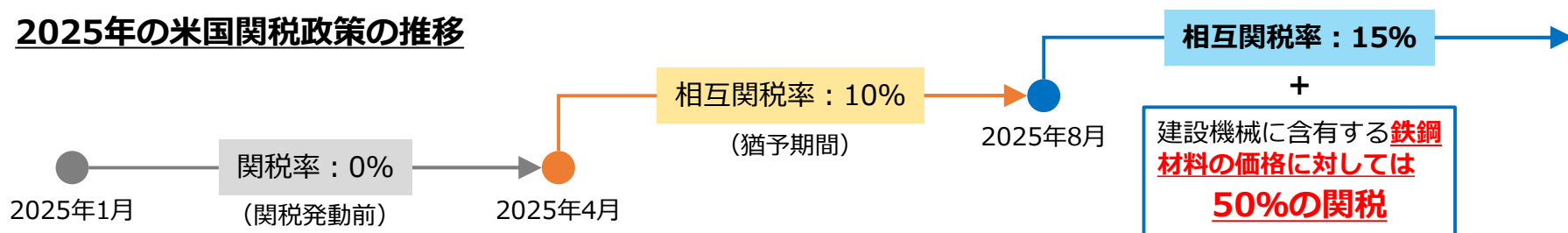
米国関税について ①

2026年2月期の関税コスト：52億円 → 価格転嫁：26億円（下期から値上げ）

2026年2月期の特殊要因 ※Takeuchi USの会計期間は1月～12月

- ① Takeuchi US 2025年3月末時点で5ヶ月分の現地在庫があった（機種によってバラつきあり）
- ② 米国関税政策 関税率は徐々に引き上げられた

2025年の米国関税政策の推移



ご参考

通期に置き換えた場合のシミュレート値

2026年2月期の関税コスト：175億円 → 価格転嫁：61億円（期初から値上げ）

以下を前提条件とした **仮定の値** です。

- ① 関税率 最新の関税率を通年で適用（相互関税率15% + 鉄鋼派生品への課税）
- ② Takeuchi USの在庫 関税影響を受けない在庫はない（販売する全ての製品が関税影響を受ける）
- ③ 販売機種構成、台数 2026年2月期と同じ機種が同じ台数で売れる
- ④ 価格転嫁 2026年2月期の下期と同じ値上げを期初から実施する

米国関税について ②

当社グループの米国への製品供給ルート： ほぼ100%が日本 → 米国

サプライヤー

竹内製作所

Takeuchi US

国内調達：約60～70%

海外調達：約30～40%

中国製造子会社を含む

長野県の本社工場・青木工場で製品組立

✓ ショベル： 100%の完成品を米国へ輸出

✓ ロードー： 70%の半製品を米国へ輸出
SKD生産に必要な部品も日本から輸出

✓ 補用部品： 日本から米国へ輸出

米国での調達

✓ SKD生産に必要な塗料、ねじ類

✓ アタッチメントや補用部品の一部

- 米国サウスカロライナ州にロードー工場があるが、部品のほぼ全て（塗料等は米国で調達）を日本の竹内製作所から輸入している。現体制で米国生産を拡大しても、関税影響は低減されない。
- 関税影響の低減には、米国内でサプライチェーンを構築する必要があり、時間もコストもかかるため、今のところ現実的ではない。

Takeuchi US

米国工場でのSKD生産
(クローラーロードー)



米国事業について

関税によるコスト増は、売価に転嫁せざるを得ない

1. 2026年2月期：下期から値上げを実施 → 効果は約26億円（半年間）
2. 2027年2月期：来期の関税コストを鑑みると、さらなる値上げは必至だが、市場動向を見極めて判断

米国での販売拡大施策

1. ディーラー網の拡大

第4次中期経営計画：2025年2月期末時点 = 280拠点 → 3年後 = 360拠点

↳ 2025年8月末時点の拠点数 = **298拠点**（計画どおりに拡大中）

2. 既存ディーラーとの連携強化

Takeuchi US ディーラーサミット2025を開催

↳ 2024年度の販売優秀ディーラーの表彰、2025年度の販売目標の共有



業績予想のポイント（2026年2月期・通期予想）

単位：百万円		前回予想（2025年7月10日公表）			修正後予想（2025年10月10日公表）				
		上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
日 本		790	720	1,510	737	612	1,350	△160	△10.6%
北 米		62,730	58,270	121,000	63,367	64,662	128,030	+7,030	+5.8%
欧 州		43,470	41,190	84,660	46,885	40,324	87,210	+2,550	+3.0%
アジア・オセアニア		1,530	1,320	2,850	1,620	2,559	4,180	+1,330	+46.7%
そ の 他		880	300	1,180	1,492	737	2,230	+1,050	+89.0%
売 上 高 合 計		109,400	101,800	211,200	114,103	108,896	223,000	+11,800	+5.6%
営 業 利 益		21,800	11,800	33,600	23,402	14,597	38,000	+4,400	+13.1%
経 常 利 益		20,800	12,000	32,800	23,692	13,607	37,300	+4,500	+13.7%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		14,800	8,400	23,200	17,055	9,344	26,400	+3,200	+13.8%

（１）下期の製品需要

- 下期販売台数（北米+ 5.3%、欧州 △1.2%、連結 +3.6% 前回予想比）
- 北米では、関税コストを価格転嫁したものの、建設市場は堅調で、前回予想を上回る
- 欧州では、英国及びその他の欧州主要国で製品需要に底打ちの兆しが見られたものの、フランスの市場低迷や、イタリアのディストリビューターの在庫調整等が大きく影響し、前回予想をやや下回る

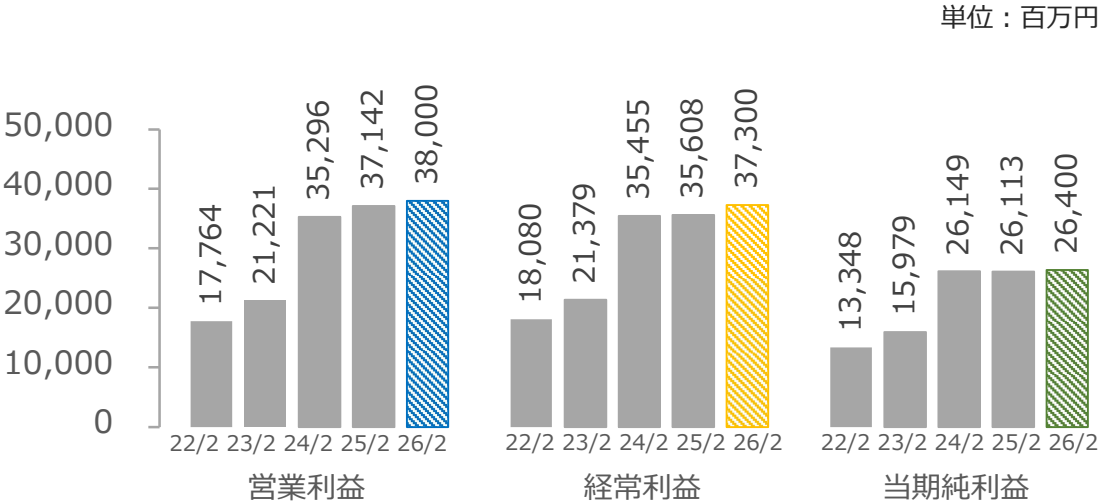
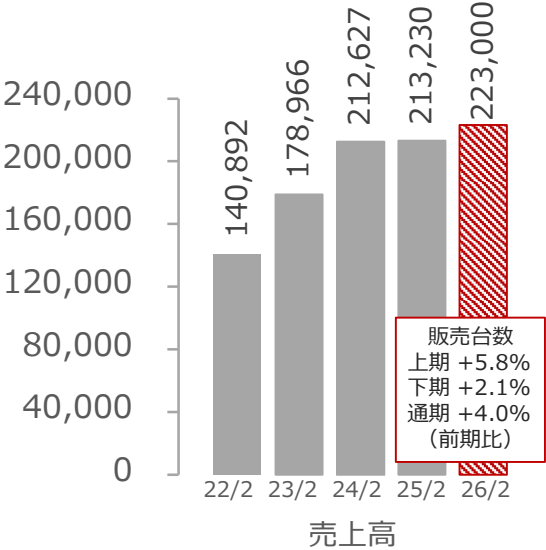
（２）売上高、各段階利益面ともに前回予想を上回り、過去最高を予想

- 通期販売台数（北米 +2.3%、欧州 +3.0%、連結 +3.8% 前回予想比）
- 各段階利益は、関税コストの増加はあったものの、値上げ、台数増加等により上振れ

連結業績予想ハイライト (2026年2月期・通期予想)

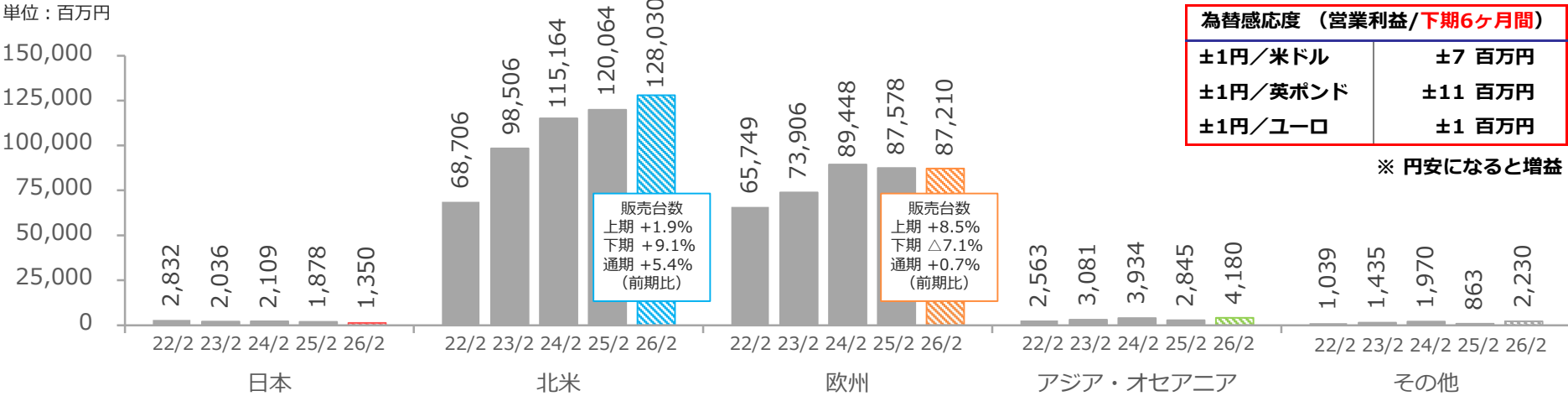
単位：百万円	2025年2月期	
	通期	売上比率
■ 売上高	213,230	－
■ 営業利益	37,142	17.4%
■ 経常利益	35,608	16.7%
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	26,113	12.2%
設備投資額	3,333	1.6%
減価償却費	3,755	1.8%
1株純利益	552.45円	配当性向 36.2%
1株配当金	200.00円	

2026年2月期					
上期実績	下期予想	通期	売上比率	増減額	増減率
114,103	108,896	223,000	－	+9,769	+4.6%
23,402	14,597	38,000	17.0%	+857	+2.3%
23,692	13,607	37,300	16.7%	+1,691	+4.8%
17,055	9,344	26,400	11.8%	+286	+1.1%
1,651	4,135	5,786	2.6%	+2,452	+73.6%
1,514	2,028	3,542	1.6%	△212	△5.7%
－	－	571.44円	配当性向 36.7%	+18.99円	+3.4%
－	－	210.00円		+10.00円	+5.0%



地域別売上高・アフターパーツ売上高（2026年2月期・通期予想）

単位：百万円			2025年2月期		2026年2月期					
			通期	構成比	上期実績	下期予想	通期予想	構成比	増減額	増減率
日本			1,878	0.9%	737	612	1,350	0.6%	△528	△28.1%
北米			120,064	56.3%	63,367	64,662	128,030	57.4%	+7,965	+6.6%
欧州			87,578	41.1%	46,885	40,324	87,210	39.1%	△368	△0.4%
アジア・オセアニア			2,845	1.3%	1,620	2,559	4,180	1.9%	+1,334	+46.9%
その他			863	0.4%	1,492	737	2,230	1.0%	+1,366	+158.3%
売上高合計			213,230	100.0%	114,103	108,896	223,000	100.0%	+9,769	+4.6%
アフターパーツ			17,362	8.1%	9,081	8,683	17,765	8.0%	+403	+2.3%
円／米ドル			152.65円	－	146.74円	140.00円	143.37円	－	△9.28円	△6.1%
円／英ポンド			194.85円	－	193.85円	190.00円	191.93円	－	△2.92円	△1.5%
円／ユーロ			163.74円	－	161.19円	164.00円	162.59円	－	△1.15円	△0.7%
円／人民元			21.13円	－	20.34円	19.50円	19.92円	－	△1.21円	△5.7%



営業利益増減要因 (2026年2月期・通期予想)

単位：
百万円

未実現利益を考慮したレート*

USD 153.49円 → 148.02円
GBP 195.56円 → 191.47円
EUR 166.81円 → 157.08円

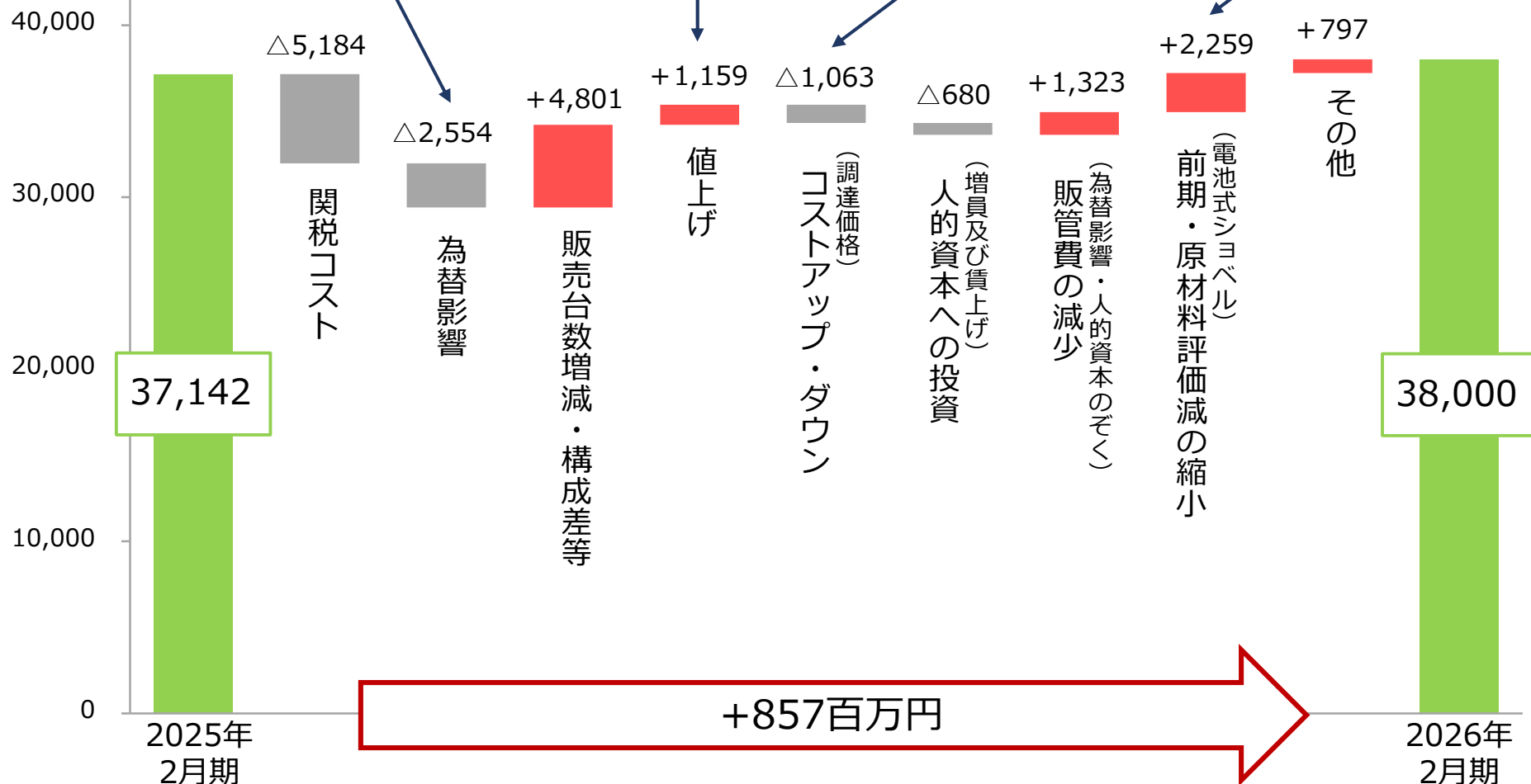
上期 △1,632M

下期 +2,791M

└ 内関税の価格転嫁 +2,589M

コストアップ +1,945M
コストダウン △882M

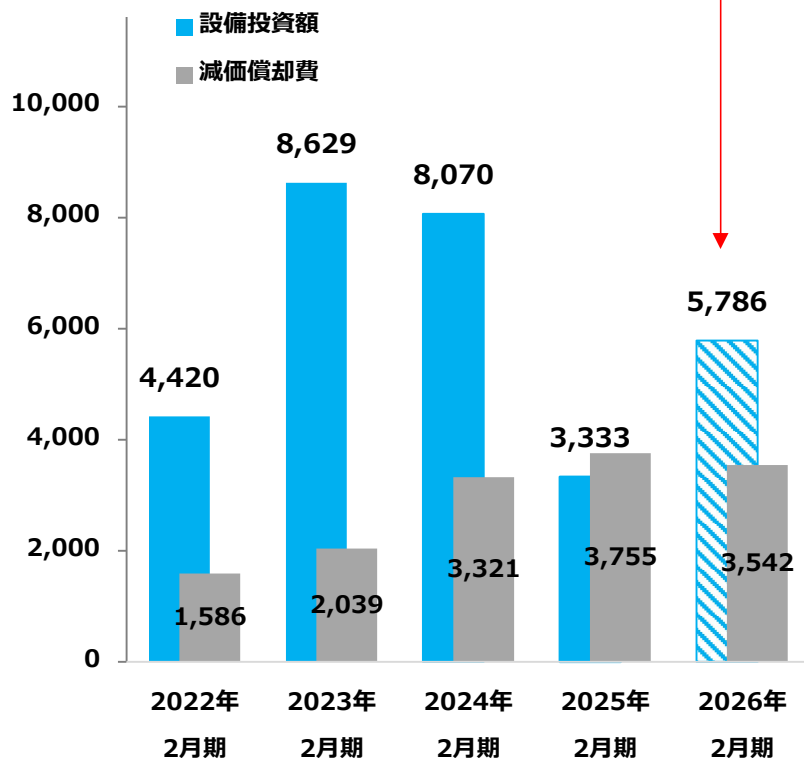
前期分発生見込み △2,659M
+400M



* 未実現利益を考慮したレート：日本から米英仏の販売子会社への輸送・在庫期間を考慮したレート

設備投資計画

単位：百万円



◇ 2026年2月期 設備投資計画の主な内訳

本社工場・青木工場	28億円	治具、金型、設備の維持更新
販売・マーケティング	16億円	本社パーツセンター増設
研究開発	7億円	びんぐし試験棟の改修
デジタル基盤 (IT・DX)	4億円	サイバーセキュリティ強化
その他	1億円	設備の維持更新
合計	57億円	

◇ 2025年2月期 設備投資の主な内訳

本社工場 青木工場	20億円	治具、金型、設備の維持更新 工場の設備増設、生産合理化 安全強化、職場環境の改善
社員寮	7億円	長野県上田市に1棟
竹内US	6億円	工場の設備増設、販促強化、IT投資
合計	33億円	

2023年2月期

米国工場 (約47億円)



2024年2月期

青木工場 (約110億円)



2025年2月期

上田社員寮 (約7億円)



本社・第二パーツセンター（仮称）※2026年3月 竣工予定

3F 開発職の専用フロア

アイデアを最大化するための環境を整備し、独創的な製品開発を促進する

2F 会議・研修スペース

社員の学ぶ機会を増やして社員の成長を促し、当社の持続的な成長につなげる

1F アフターパーツの出荷スペース

より迅速かつ効率的な供給体制を構築し、アフターパーツ売上拡大を図る

1. 投資額 20億円（概算）

2. 工期 着工：2025年3月、竣工：2026年3月

3. 建物の概要

名称 本社・第二パーツセンター（仮称）

所在地 長野県埴科郡坂城町上平205（本社工場と同じ、既存の本社パーツセンターの隣）

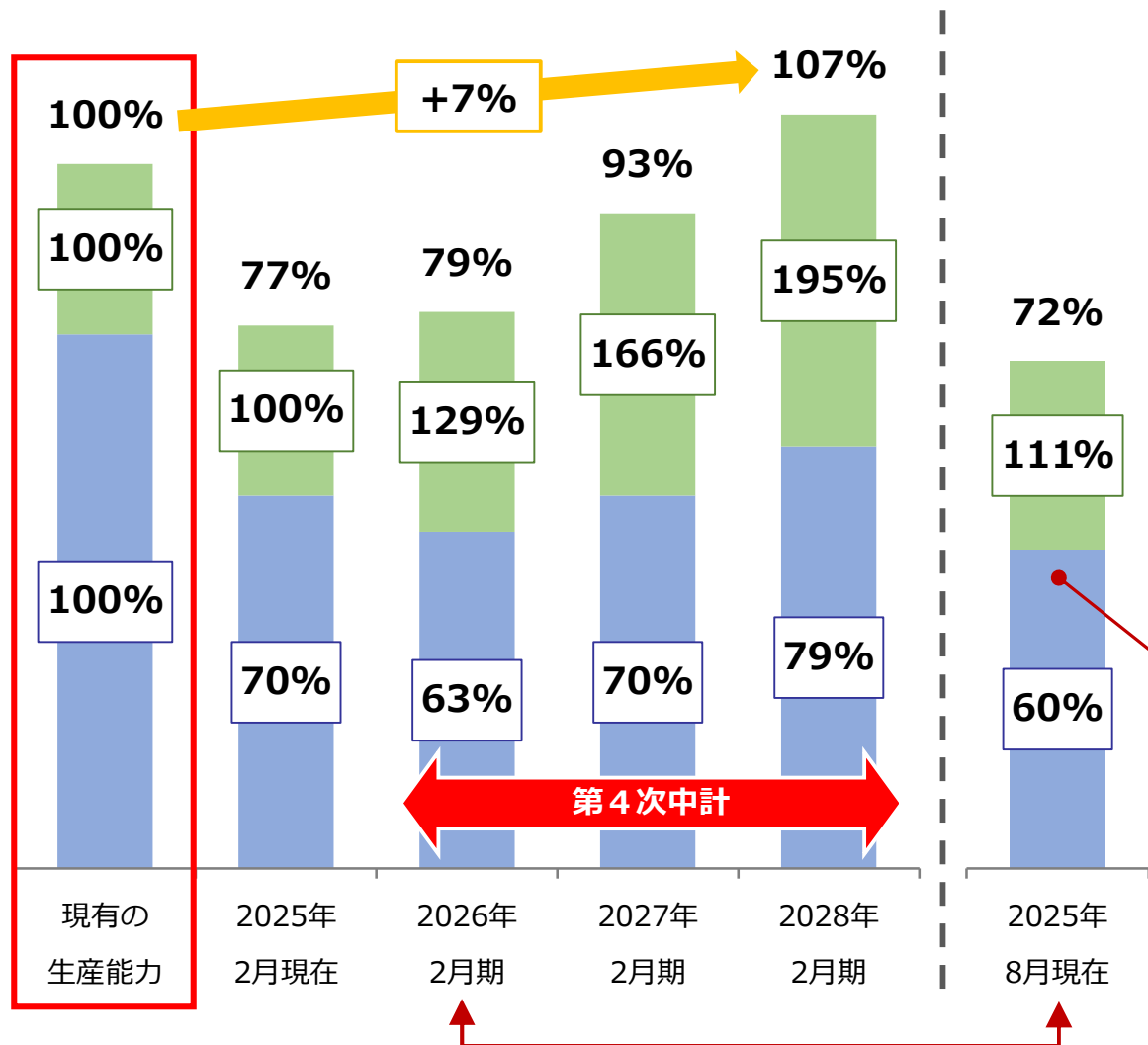
建築面積 約1,200㎡、延床面積 約3,000㎡（鉄骨・3階建て）



生産の状況

第4次中期経営計画

※ 2025年2月現在の生産状況と各年度の生産計画
(現有の生産能力を100%とした場合)



重点施策

- ① 生産機種の再編成
(生産能力をローダーに振り向ける)
 1. 本社工場・青木工場のショベルの生産ラインでローダー完成機も生産(混流生産)
 2. 米国工場のローダーSKD生産はフル稼働状況にあり現状維持
- ② 生産台数の増加 (+7%)
 1. 増員による生産台数の底上げ
 2. トレーニングによる生産効率の向上
- ③ 将来的な販売拡大を見据えた能力増強
 1. 青木工場の隣接地にローダー新工場を建設
 2. 稼働開始は2028年1月頃の見込み

2025年8月：生産調整中

米国関税が製品販売に及ぼす影響が不透明であり、生産は慎重に行っている。

足元の経営環境は厳しい状況にあるが、中長期の経営戦略に変更はない

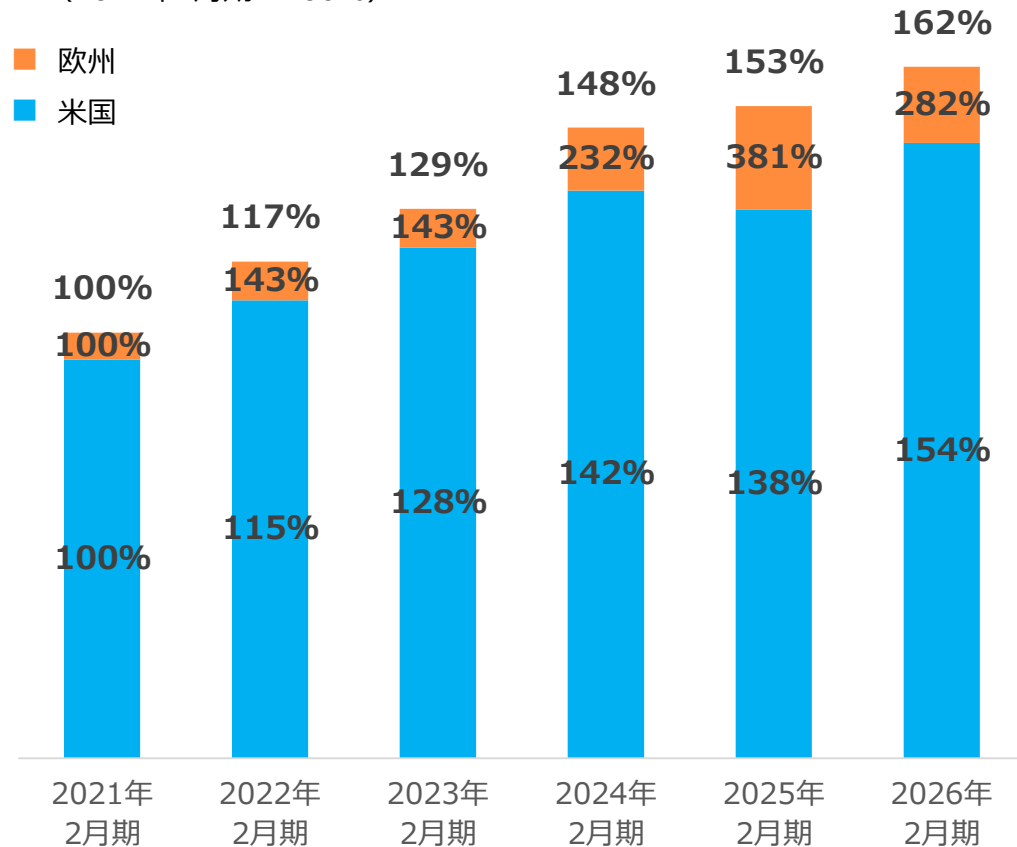
**ローダー新工場を建設して
将来の需要増に備える**

クローラーローダーの販売状況

クローラーローダーの販売拡大に注力

- ✓ 5年間でクローラーローダーの販売台数は米国で約1.5倍、欧州で約2.8倍に拡大
- ✓ 欧州では、ユーザーへのリテール販売は堅調なものの、当社グループから販売代理店（ディーラー、ディストリビューター）への販売は足踏み状態

➤ 米国・欧州のクローラーローダーの販売台数
（2021年2月期＝100%）



PLANTWORX（2025年9月23日～25日）

- ✓ UKの展示会にローダーを初出展
- ✓ 建設業だけでなく、農業や林業、造園業など、幅広いお客様からお引き合いがある。



キャッシュアロケーション

3年間累計（2026年2月期～2028年2月期）

必要に応じた
借入金の活用

必要に応じた
借入金の活用

成長投資
458億円

ローダー新工場	180億円
その他生産	80億円
研究開発	35億円
人的資本	110億円

など

営業CF

営業CF
800億円

配当金
390億円

連結配当性向40%を目指し、
段階的に引き上げていく

計画どおりにEBITDAを稼いだとしても、米国の棚卸資産は関税分だけ増加する
→ 営業CFは悪化

キャッシュフローの調整弁として機動的に実施

自己株式取得

運転資金

2025年2月末
手元資金
465億円
月商 2.6ヶ月

運転資金
月商
2.0～2.5ヶ月

- ✓ 成長投資と株主還元の方針変更はない
- ✓ 営業CFの悪化が懸念されるが、借入金で対応
→ レバレッジを効かせる

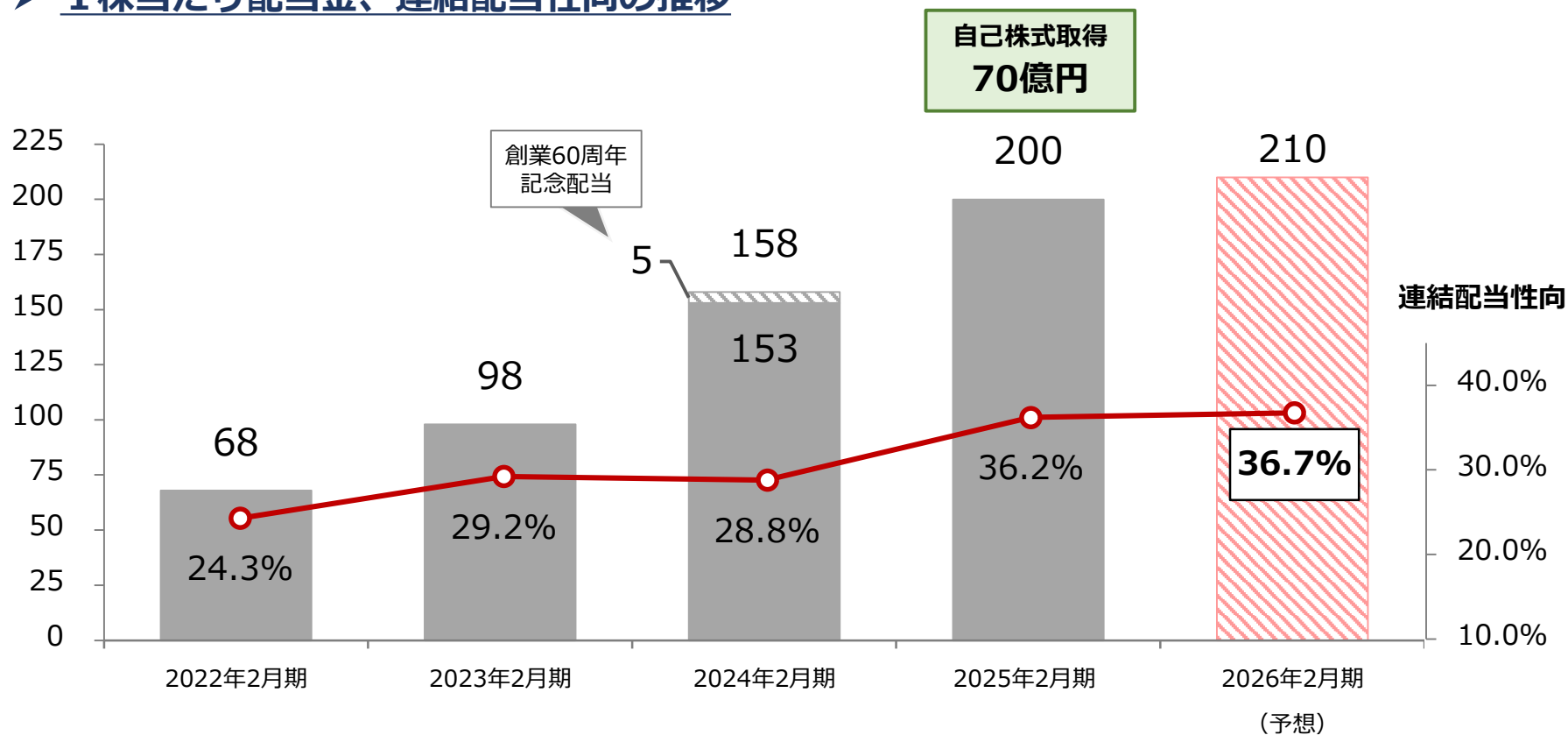
株主還元、連結配当性向

基本方針

キャッシュフローを成長投資に優先配分し、月商の2ヶ月から2.5ヶ月分を目安として運転資金を確保したうえで、余剰資金を株主還元に充当する。

- ① **連結配当性向 40% を目指し**、段階的に引き上げていく。
- ② 株価水準や資本効率等を勘案のうえ、**自己株式の取得**を機動的に実施する。

➤ 1 株当たり配当金、連結配当性向の推移



- ▶ 2026年2月期・連結業績 上期実績
- ▶ 2026年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ **ご参考資料**

会社概要

会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2025年8月31日現在)	
売上高(連結)	213,230百万円 (2025年2月期)	
従業員数(連結)	1,358名 (2025年8月31日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年5月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

<主力製品>

ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発、生産開始 (1971年9月)
- ✓ ミニショベル
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル
製品質量が6トン以上のもの

主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発、生産開始 (1986年9月)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ 北米需要が主だが、欧州でも需要増

主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



単位：百万円		第59期 2021年2月期	第60期 2022年2月期	第61期 2023年2月期	第62期 2024年2月期	第63期 2025年2月期	第64期（予想） 2026年2月期 前年増減額	
日 本		2,508	2,832	2,036	2,109	1,878	1,350	△528
北 米		52,248	68,706	98,506	115,164	120,064	128,030	+7,965
欧 州		54,988	65,749	73,906	89,448	87,578	87,210	△368
アジア・オセアニア		1,814	2,563	3,081	3,934	2,845	4,180	+1,334
そ の 他		694	1,039	1,435	1,969	863	2,230	+1,366
売 上 高		112,254	140,892	178,966	212,627	213,230	223,000	+9,769
営 業 利 益		13,207	17,764	21,221	35,296	37,142	38,000	+857
経 常 利 益		13,298	18,080	21,379	35,455	35,608	37,300	+1,691
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		9,765	13,348	15,979	26,149	26,113	26,400	+286
1 株 純 利 益		204.78円	279.91円	335.19円	548.58円	552.45円	571.44円	+18.99円
1 株 配 当 金		53.00円	68.00円	98.00円	158.00円	200.00円	210.00円	+10.00円
円／米ドル		106.13円	111.72円	133.12円	143.25円	152.65円	143.37円	△9.28円
円／英ポンド	※1	137.88円	153.06円	162.58円	177.55円	194.85円	191.93円	△2.92円
円／ユーロ		122.91円	130.57円	139.81円	155.05円	163.74円	162.59円	△1.15円
円／人民元		15.41円	17.12円	19.49円	19.87円	21.13円	19.92円	△1.21円
純 資 産		89,908	104,083	121,802	147,625	167,000		
総 資 産		115,525	137,201	158,785	198,153	217,718		
自己資本比率		77.8%	75.9%	76.7%	74.5%	76.7%		
R O E ※2		11.3%	13.8%	14.1%	19.4%	16.6%		
R O A ※3		11.8%	14.3%	14.4%	19.9%	17.1%		

	上期実績	下期前提
USD	146.74円	140.00円
GBP	193.85円	190.00円
EUR	161.19円	164.00円
RMB	20.34円	19.50円

※1 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

※2 R O E（自己資本当期純利益率）＝ 当期純利益÷純資産×100（純資産は期首・期末の平均値）

※3 R O A（総資産経常利益率）＝ 経常利益÷総資産×100（総資産は " ）

パーパス：何のために事業を行っているか？

➤ 全世界の人々の幸福で豊かな暮らしに貢献する

- ✓ 人々の住環境の維持・改善に必要不可欠な小型建設機械を開発・生産し、全世界にお届けする。



コアコンピタンス

- ✓ **世界最高品質**の小型建設機械の開発・製造・販売

- └ 建設機械事業者のUX（User Experience）の徹底追求

- └ 高価でも買ってくださる竹内ファンの創出

➤ 当社グループの成長とともに、 幸福をステークホルダーと分かち合う（ESGのSの重点施策）

- ✓ 株主
- ✓ 社員
- ✓ 販売先（顧客&エンドユーザー）
- ✓ 調達先（サプライヤー）
- ✓ 地域社会

Environment
Society (**S**takeholder)
Governance

バリュー：社員が共有する価値観

社是

創造

豊かな感性をもって、ニーズに応えた商品開発をする。

挑戦

夢と若さをもって、より高い目標に向かって果敢に行動する。

協調

和と思いやりの心をもって、調和の取れた社会との共生を図る。

企業理念

世界初から世界の **Takeuchi** へ

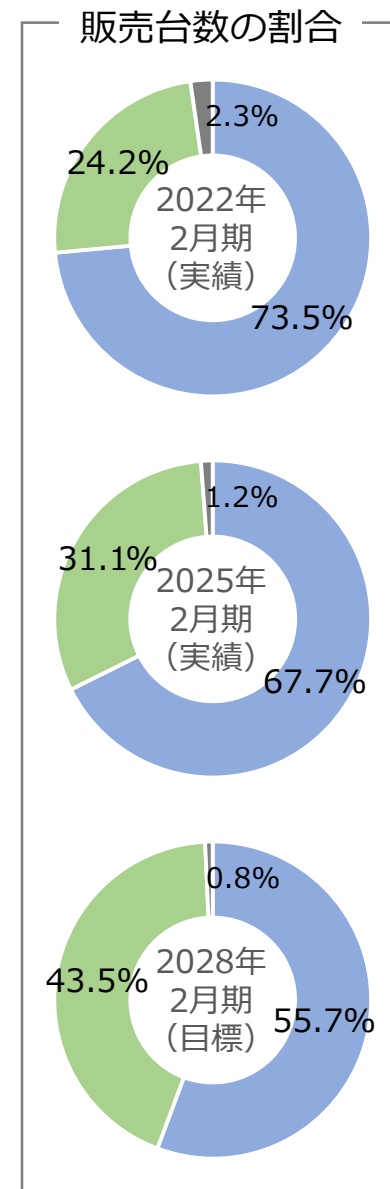
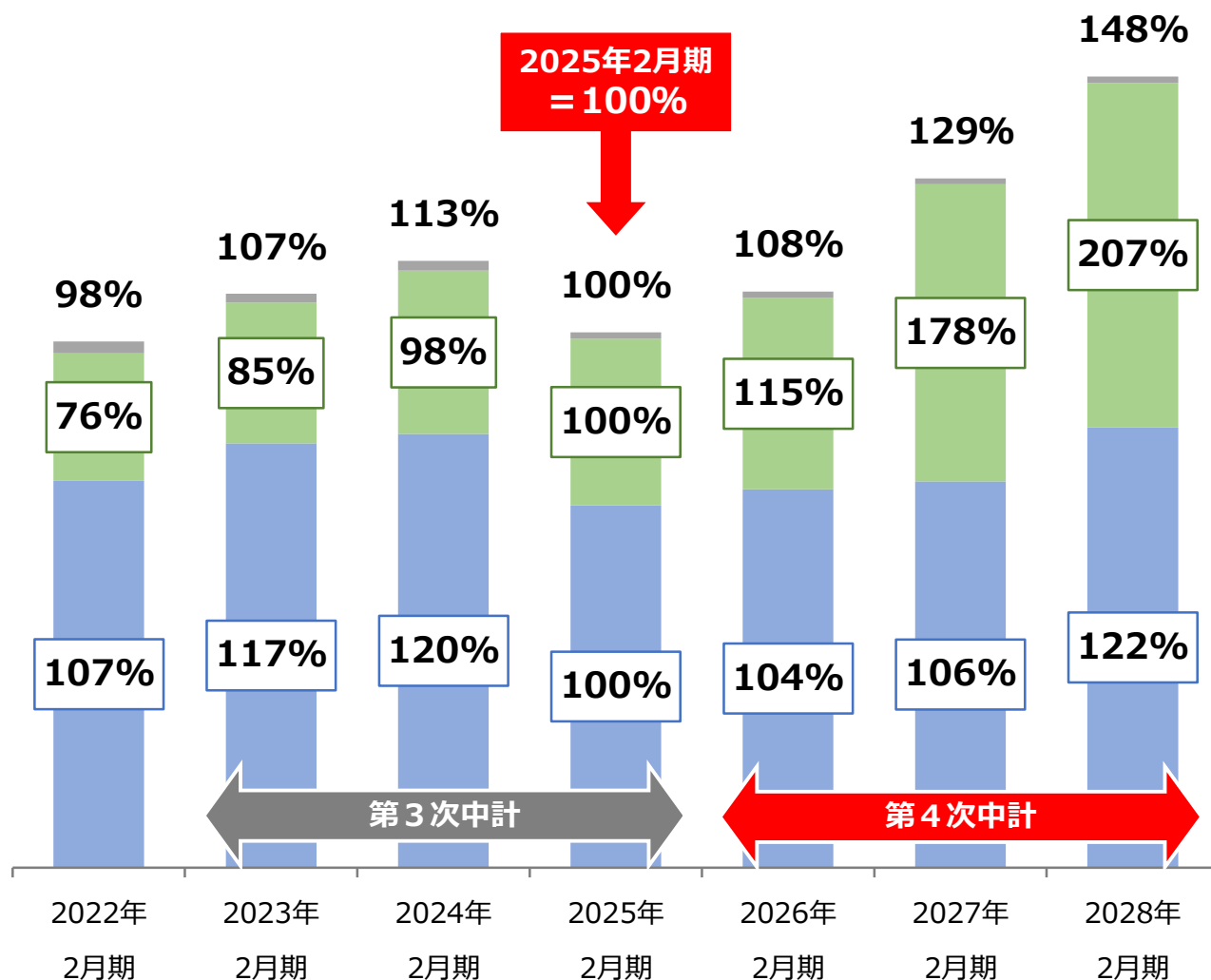
■ 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、TAKEUCHIのものづくりを追求します。

■ グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。

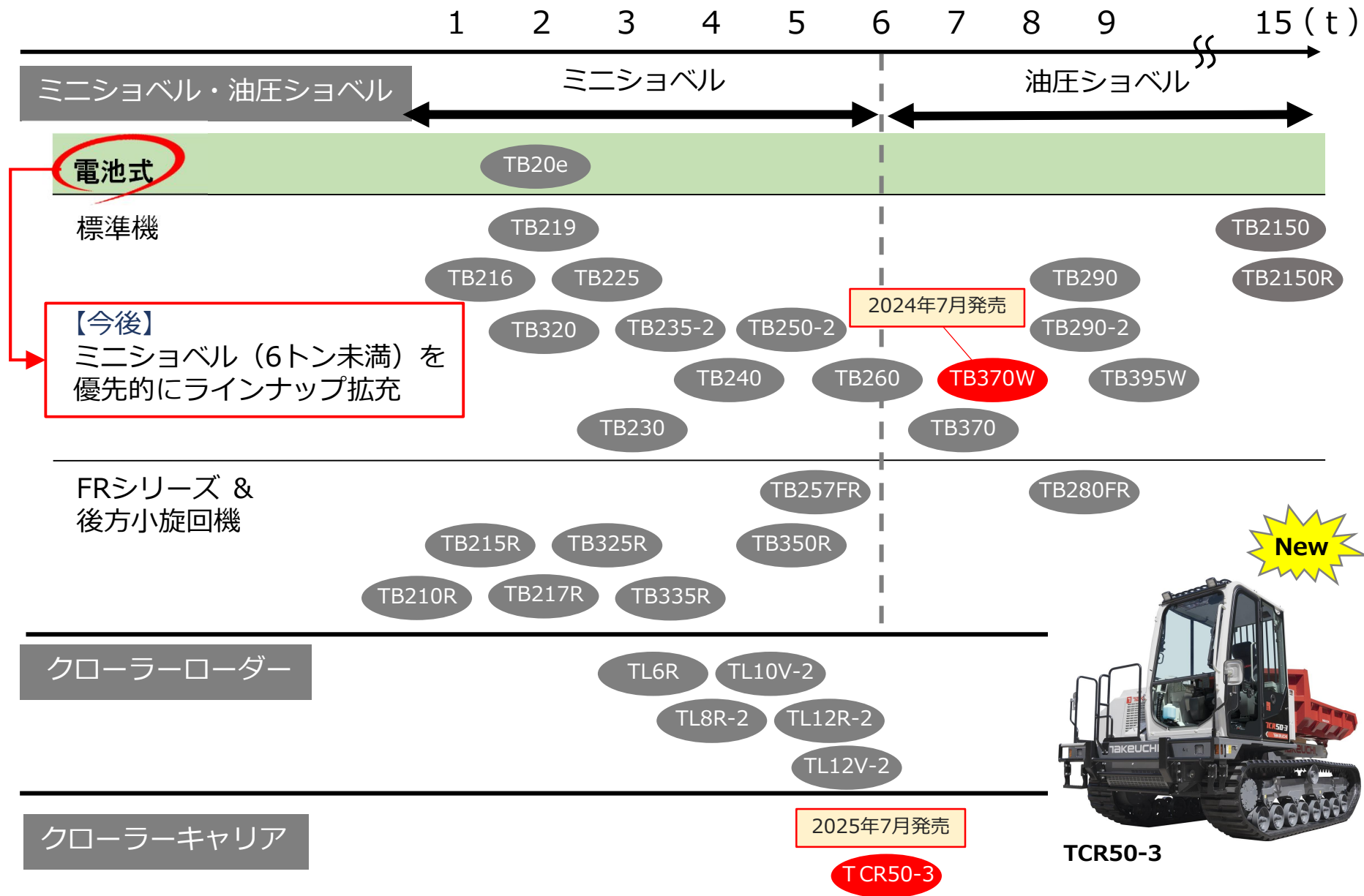
■ 一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

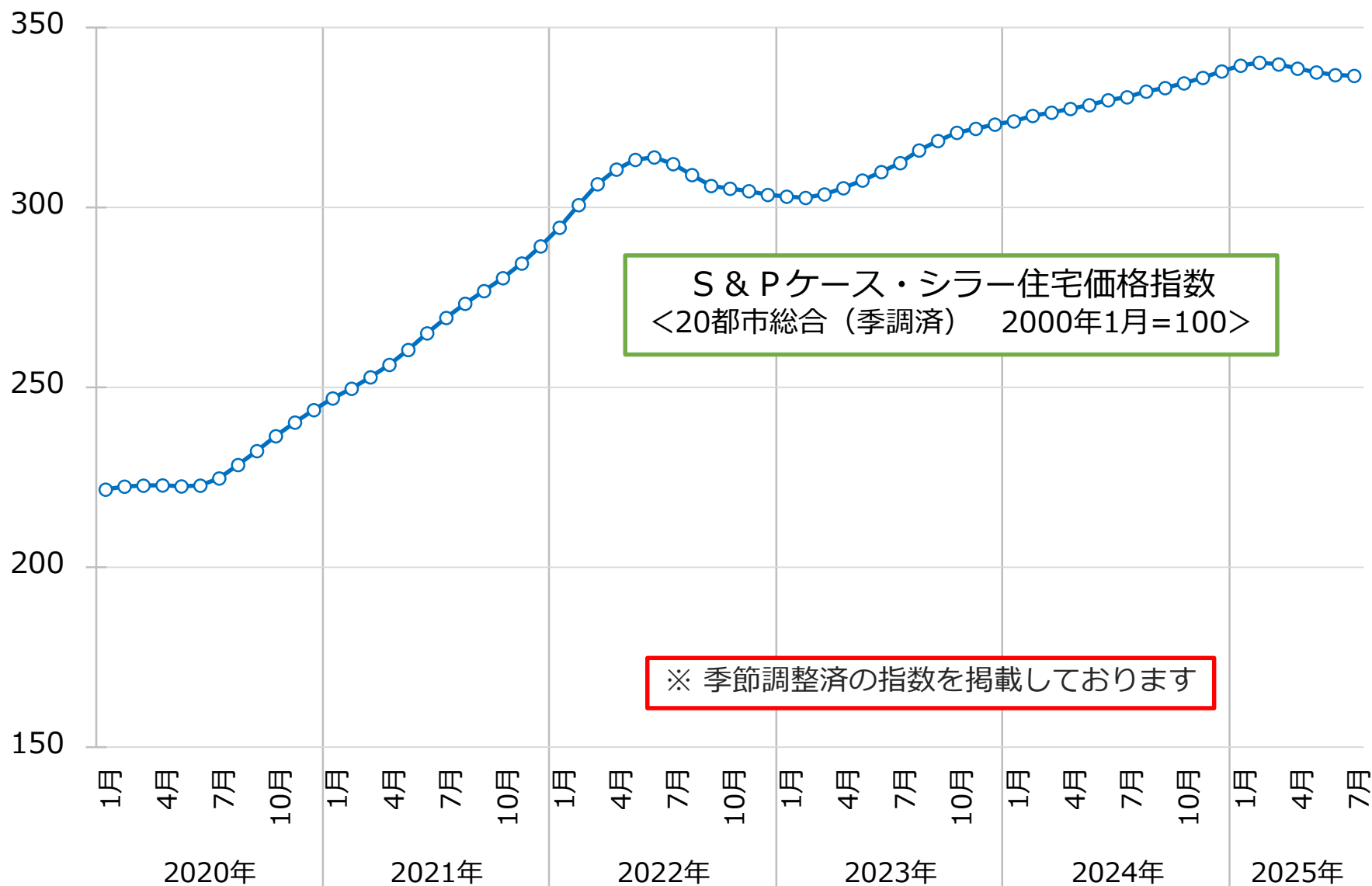
販売目標台数（連結・第4次中期経営計画）

- クローラーローダー
- ショベル（ミニ+油圧）
- その他



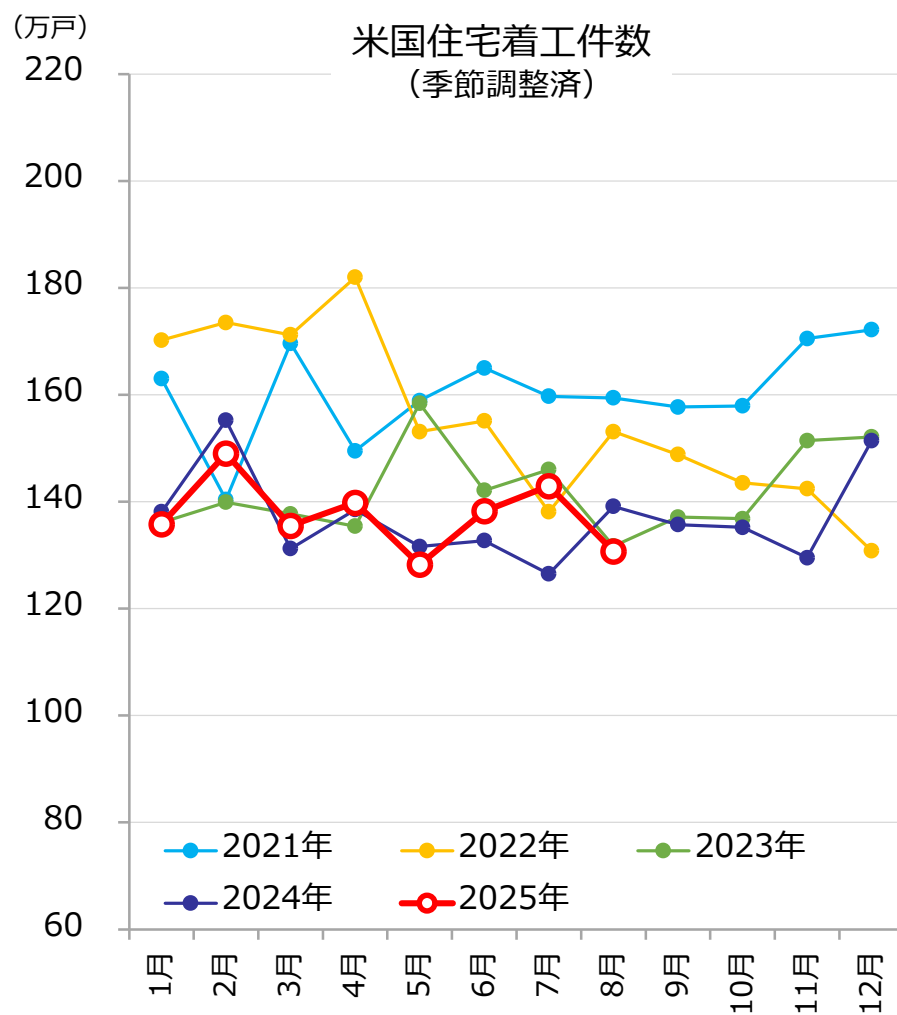
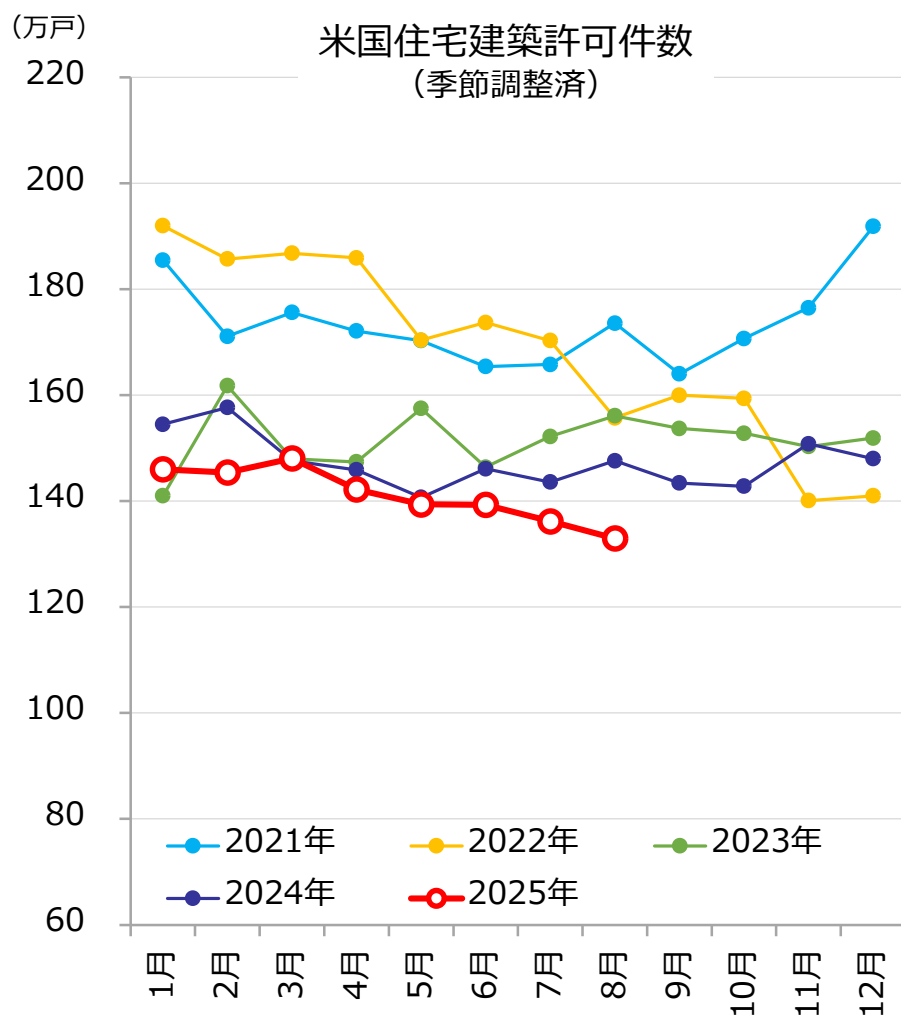
製品ラインナップ





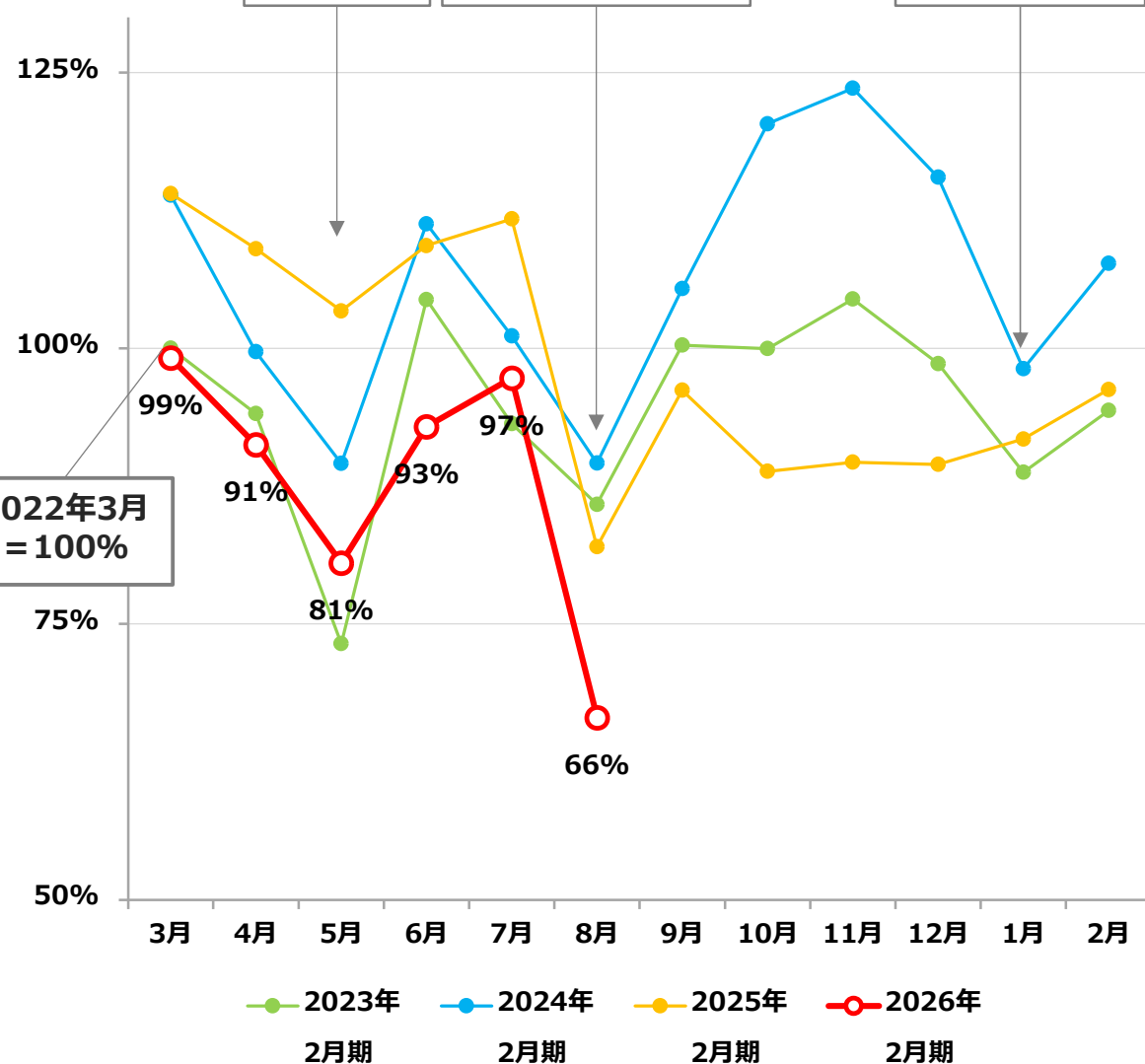
市場見通し

- 2021年後半は、コロナ禍からの経済活動の再開とともに回復
- 2022年前半より、米国利上げにより減速したが、**歴史的には高い水準で推移**
- 高金利と住宅価格の高止まりで、調整局面が継続し市場には一服感あり

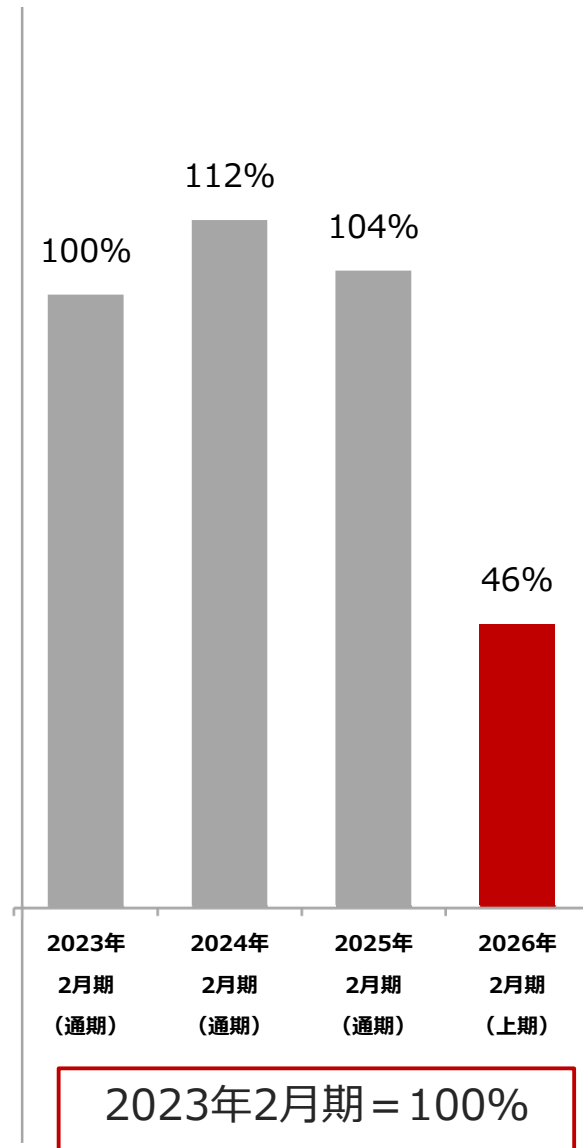


生産台数の推移

【月別推移】



【年度別推移】



お問い合わせ先

株式会社竹内製作所

経営管理部 経営企画課 / ESG推進課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail : ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。



TAKEUCHI®